

■宣言者：建設部長 利山尚由

部の使命・方針

市民が安全で安心して快適に生活することができるまちづくり（社会基盤づくり）を進めるため、次の重点事業に取り組む。
 安全…国土交通省との連携のもと、防災・減災を踏まえた加古川整備の推進
 快適…基幹道路や円滑な市内道路交通網の整備及び特別指定区域制度を活用した良好な住環境づくり

平成26年度重点目標	目標の概要	達成基準	達成度
1 都市計画道路 滝野梶原線の整備	市内外の広域的な交流を活性化し、暮らしの利便性を高めるため、道路用地を確保するとともに工事に着手する。	平成25年度で全体計画の53%の用地を確保しており、引き続き地権者との交渉を進め、残る47%の用地取得を完了する。	達成基準をやや下回る
2 加古川改修の推進	防災、減災力を強化し、浸水被害から市民の生命、財産を守るため、国土交通省と連携、協働のもとに事業を加速させる。	滝見橋周辺の用地取得の完了及び河高、下滝野地区右岸側の境界確定、物件補償調査、用地交渉を完了する。	達成基準どおり
3 特別指定区域制度の活用	人口減少、地域活力活性化対策として、特別指定区域制度を活用し、地域と協働で市街化調整区域の規制緩和に取り組む。	制度活用のガイドラインを作成し、地区説明会を経て新規居住者住宅区域、人口減少集落区域の指定を進める。	達成基準をやや下回る
4 市民生活に密着した道路の整備	安全で快適な生活を支える道路環境・ネットワークを充実し、広域的な利便性を向上させるため、計画的な道路整備を進める。	赤山河高線の道路用地確保、社西部線（仮称）の詳細設計の完了及び下滝野南4号線に着手し、用地測量を行う。	達成基準をやや下回る